

昨年の断水災害の問題点や課題へ対応

原水の確保と監視体制の強化

昨年9月11日に発生した集中豪雨により、今まで経験のなかった大規模な断水災害で、市民の皆さんにご不便をおかけしました。

この災害で明らかになった問題点や課題を踏まえ、施設の整備や情報・連絡体制の整備などを行っています。これまでに進めている断水対応策をお知らせします。

【詳細】 水道整備課 ☎ 383 - 2439

水道施設の強化

千歳川が濁ったときでも一定の給水ができるような原水（河川水）をあらかじめ確保する施設を整備し、この運用を開始しています。

また、原水の濁りをより早く察知するための連絡体制も強化します。

原水を溜める施設を整備

昨年の断水災害は、大雨によって千歳川の濁りが浄水場の処理能力を超えたことから、取水ができなくなったこと

とが原因でした。このため、昨年同様に千歳川からの取水を停止する事態になっても、

事前に濁る前の原水を、一時的に溜めておく施設を上江別浄水場近くに整備しました。

昨年のような大雨時に浄水場の浄水処理を継続し、断水を回避・低減することができます。

これにより、時間帯にもよりますが約半日程度の水量

を蓄えることができます。

この施設は8月に完成し、現在運用しています。

上流の浄水場との連携・取水ポンプ場に原水濁度計を設置

江別市が取水している千歳川の上流には、恵庭市に漁川浄水場、千歳市に千歳川浄水場（以上石狩東部広域水道企業団）、南幌町に長幌第二浄水場（長幌上水道企業団）があります。

千歳川の濁度変化を早期に把握するため、これらの浄水

場との連絡を密にし、特に原水の濁りが上昇したときや、大雨時などには連絡を強化し、情報を共有します。

また、原水の濁りの監視は、



原水を溜める施設



濁度計



電動ポンプ



給水袋

実際に断水となった場合の対応として、緊急貯水槽での

緊急貯水槽に 電動ポンプ

給水活動

これまで浄水場内に設置されている原水濁度計で行っていましたが、浄水場の約1.5キロ上流にある取水ポンプ場にも原水濁度計を設置し、さらにその上流にも濁度計を設置するための工事を進めています。

これらの濁度計を常時監視することにより、早期に原水濁度を把握することが可能となり、災害のときの対応もより早く取ることができま

市内の緊急貯水槽設置か所

- 江別太小学校（朝日町 25）
- 飛鳥山公園（緑町西 2 丁目）
- 若草公園（野幌町 6）
- 大麻東公園（大麻東町 35）
- とちのき公園（野幌若葉町 32）

電動ポンプの導入と 照明灯の設置

電動ポンプの導入や、給水車、給水タンクの充実、給水袋の備蓄を充実させました。

緊急貯水槽は、地震などの災害による停電を想定し、手動ポンプの配備をしています。また、昨年のように電気が使える場合もあることから、市内5か所全ての緊急貯水槽に

給水袋の備蓄

電動ポンプを配備し、給水時間を短縮できるようにしました。また、夜間に給水活動を行う場合のために、照明灯を同じく全5か所に設置しました。

これまで他市町村と融通し合うことを前提に、約1万枚を備蓄していましたが、昨年の断水災害時には応援団体が到着する前に給水袋が不足してしまいました。

このため、昨年の使用実績から、給水袋を3万3千枚まで増やすこととし、今年度から5年間で順次購入していく予定です。

給水タンク

昨年の

断水災害時では合計48台の給水タンク車が給水活動を行いました。応援団体が到着する

保有数	保有数
●加圧給水タンク車 1台→ 2台 (1.8ト1台、3.0ト1台)	
●車載用給水タンク 4基→ 10基 (1.5ト2基、1.0ト8基)	
●組立式給水タンク 2基→ 6基 (1.0ト6基)	



給水タンク

までの間、市の保有する給水タンクだけでは十分な対応ができなかったことから、初対応に必要な台数を確保できるよう給水タンク車や給水タンクを購入しました。

大規模断水に対応した マニュアルを作成

大規模断水時に迅速かつ効果的な対応を全庁的に行えるよう、「江別市断水対応マニュアル」を作成しました。

組織体制

原水の濁りや断水規模などによる行動基準を定めると共に、各部の役割を明確化し、全庁的な体制に迅速に移行で

情報連絡

市役所内の情報連絡システムを定め、職員間や関係団体との綿密な情報共有や連携を図れるようにしました。

広報活動

広報車による広報内容を聞き取れるような走行速度や、広報文の読み上げ時間の基準を定め、それに応じて必要な広報車の台数や巡回手順を定めました。

また、ホームページ、つながりやすくする災害時モードへの切替をスムーズに行えるようにしたほか、防災情報提供サービスの登録はこちらを
<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/bousai/30302.html>
江別市断水対応マニュアル（概要版）はこちらを
<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/suidou/31500.html>



水道水の水質検査結果については、水道部ホームページ
または水道部営業センターで見ることができます。

水PRプロジェクト

水道部の業務などのPRを目的に平成23年に発足した水PRプロジェクト。
今年度の活動の一部をご紹介します。

えべつ環境広場に参加



水道部の業務紹介パネル展示や3種類の水を飲み比べる「きき水」などを行いました。

上下水道施設見学バスツアーを実施



江別市の水に関わりのある「漁川ダム」や市内上下水道施設の見学会を開催しました。

メータを設置しています。地上式メータを住宅の壁など、冬でも安全に検針できる見やすい位置に設置することで、容易に水の使用状況を確認できるほか、積雪期での2か月検針も可能となります。地上式メータの取付工事や設置位置について、皆様のご理解とご協力をお願いします。



8年ごとに水道メータの取り替えを行っていますが、その際、無料で地上式（電子式）

水道メータの取替

〔詳細〕 水道整備課 ☎ 385・4989

検針期間を変更

10月から、水道メータの検針が、4か月に一度から2か月に一度に変わりました。水道料金などのお支払いはこれまでどおり毎月となりますが、検針期間が短くなることで、漏水を早期に見出しやすくなるほか、精算する際の差額が少なくなります。

〔詳細〕 水道部総務課料金収納担当 ☎ 385・1213

口座振替のすすめとお知らせの省略

水道料金などのお支払いについては、便利な口座振替をお

すすめしています。また、口座振替でのお支払いが確認で



きた方には、水道部から領収のお知らせをお送りしています。が、経営の効率化と環境への配慮から、このお知らせを省略する取り組みを行っています。ご協力いただける方はご連絡ください。

〔連絡先〕 営業センター ☎ 385・1215

平成26年度 水道事業・下水道事業会計決算

水道部では、平成26年度から平成30年度までの5年間の経営の指針として策定した、「江別市水道事業中期経営計画」および「江別市下水道事業中期経営計画」に基づき事

業を進めています。計画の初年度である平成26年度決算の概要を中期経営計画との比較を交えてお知らせします。

〔詳細〕 水道部総務課財務係 ☎ 385-1214

1. 決算の概要

—引き続き健全経営を維持—

水需要は人口の減少や景気の低迷、節水型機器の普及などにより減少傾向にありますが、管理運営費などの節減に努めた結果、上下水道事業とも中期経営計画の目標を上回る純利益を計上することができました。合わせて資本構成の安定度を高めるため、今後も引き続き企業債残高の縮減に努めます。

● 損益の状況

項目	水道事業	下水道事業
営業収益	22億9,087万円	22億7,397万円
営業費用	20億300万円	29億3,118万円
営業外収益	1億2,384万円	13億118万円
営業外費用	9,174万円	4億78万円
特別利益	0円	0円
特別損失	3億1,282万円	4,400万円
純利益	715万円	1億9,919万円

● 水量（単位：千立方メートル）

年間給水量	10,999 (11,185)
年間総処理水量	17,525 (17,810)

※（ ）内は26年度経営計画の需要予測値

● 企業債残高の推移

年度	水道事業	下水道事業
H 24	35億9,791万円	150億8,600万円
H 25	34億9,846万円	145億1,969万円
H 26	32億534万円	137億6,296万円

各種指標についても、中期経営計画の目標値を達成しています。

● 経営指標（単位：％）

項目	水道事業	下水道事業
総収支比率	100.3 (79.2)	105.9 (104.5)
累積欠損金比率	0 (-)	0 (-)
電子メータ設置率(%)	27.8	(26.1)

※（ ）内は26年度経営計画の目標値

2. 主要事業

(1) 基幹管路耐震化事業（水道事業）
災害に強く安定したライフラインの構築を図るため、基幹管路の耐震化事業を進めました。

基幹管路耐震化率(%)	10.0 (9.8)
-------------	------------

※（ ）内は26年度経営計画の目標値

(2) 処理場・ポンプ場施設耐震化事業（下水道事業）

災害においても一定の機能を確保できるように、計画的に管路や施設の整備を進めるため、耐震診断を実施しました。

3. 今後の取り組みについて

給水量、処理水量の減少が当初の予測を上回るペースで推移する厳しい状況が続くと見込まれますが、経営基盤強化への取り組みに努め、市民の皆さんが安心して生活を送ることができるよう良質な上下水道サービスの提供と安定的で効率的な事業運営を進めていきます。

※詳しい決算の状況（決算書）および「中期経営計画」は、水道部ホームページに掲載しています。
<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/suidou/list152-222.html>